

国内クレジット認証委員会御中

## 実績確認概要書

平成 22 年 7 月 9 日

審査機関名 株式会社日本スマートエナジー

### 1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	東京大学サステイナブルキャンパスプロジェクト —病院冷凍機更新による CO2 削減対策—
承認番号	JCDM-PJ0002
排出削減事業者名	国立大学法人東京大学
排出削減共同実施事業者名	株式会社ローソン
事業実施場所	東京大学医学部附属病院（東京都文京区本郷 7-3-1）
事業の概要	スクリー冷凍機を高効率の熱回収ターボ冷凍機に更新する。 更新前の冷凍機は冷水のみの供給であるが、更新後の熱回収ターボ冷凍機は冷水と温水の供給が可能である。高効率の冷凍機に更新することによる CO2 排出量削減に加え、更新前にボイラーで供給していた熱の一部を熱回収ターボ冷凍機が供給することにより更なる CO2 排出量の削減ができる。
排出削減量の計画	2008 年度 404 tCO <sub>2</sub> 、2009 年度以降 2,076 tCO <sub>2</sub> /年 (事業実施期間合計 8,708 tCO <sub>2</sub> )
国内クレジット認証期間	開始日 2009 年 1 月 20 日、終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 002-A ヒートポンプの導入による熱源機器の更新 (熱回収型ヒートポンプ)

### 2. 本実績確認の対象期間

2009 年 4 月 1 日～2010 年 3 月 31 日（第 2 回目実績報告）

### 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	2,340tCO <sub>2</sub> (2009年4月1日～2010年3月31日)
-------	--

### 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。 1)承認排出削減事業計画に従いヒートポンプ（熱回収型ヒートポンプ）が導入されていること、および本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、本実績報告期間におけるエネルギー使用実績により確認した。 2)事業開始日が承認排出削減事業計画通りであることは、初回の実績確認の際に、事業者への質問やエネルギー使用実績データにより確認済みである。 3)その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。 1)モニタリング方法については、承認事業計画に従って、電力量メーター及び BEMS による実測により実施されていることを確認した。 2)エネルギー使用量の計測値の記録・保存については、報告期間中に渡り、記録責任者の管理の下、日次データが記録・保存されており、本データが正確に集計されていることを、事業者への質問、原始証憑と集計データの突合、日次数値の集計と積算計数値の差分の比較などにより確認した。 3)排出削減量の算定式および使用されている単位発熱量は方法論及び承認排出削減事業計画に従っており、電源炭素排出

	<p>係数は、事業申請時点および初回の実績報告時点では移行電源係数方式の考え方は示されていなかったため全電源係数を適用していたが、今回の実績報告においては、排出削減方法論に記載されているデフォルト値である限界電源係数を適用する軽微の変更を行っていることを確認した。また、算定結果が正確であることを確認した。</p> <p>4)その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。</p>
<p>算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと</p>	<p>算定期間は 2010 年 3 月 31 日までであり、2013 年 3 月 31 日を超えない。</p>

## 5. 特記事項

確認した排出削減量（クレジット量）に相当する省エネ量について、原油換算 1,165.0kl であることを確認した。

以上